

2019年6月8日 ~ 2019年6月14日

2019年6月18日

### 先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は対米ドル・対円ともに下落しました。トルコの2年国債金利は低下しました。

先週はトルコ外相がロシアからのミサイルシステム購入を撤回するつもりはないと発言したことにより、米国からの経済制裁を受ける可能性が高まり、トルコ・リラは下落しました。また格付会社のムーディーズ・インベスターズ・サービスは14日（現地、以下同様）、トルコの国際収支危機と政府のデフォルト（債務不履行）のリスクが高まっていることを理由に、同国の自国通貨建て及び外国通貨建ての長期発行体格付けを「B a 3」から「B 1」に格下げしました。トルコ中央銀行は12日の金融政策理事会で、政策金利を市場予想通りに据え置きましたが、国債金利は低下しました。

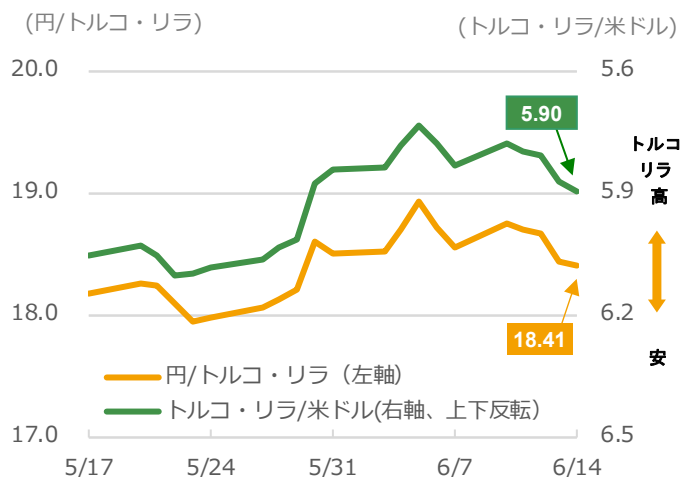
### 今週の見通し

今週はイスタンブール市長選挙の再選挙が6月23日に予定されています。与党AKP（公正発展党）が勝利すれば、3月末の選挙結果との違いによりトルコの民主主義が懐疑的にみられる可能性がある一方、AKPが敗北してもエルドアン大統領の反発によって、政治的混乱が長引く可能性があります。

市場では、ロシアからのミサイルシステムの購入問題も引き続き警戒されています。目先はこれまでトルコ当局が導入した様々な通貨安対策により、トルコ・リラが積極的に売られる環境にはないと考えますが、今週のトルコ・リラも、引き続き政治的ヘッドラインに注意する必要がありますと考えています。

### トルコ・リラ 為替推移

(2019年5月17日~2019年6月14日)



\*四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

### トルコ 金利推移

(2019年5月17日~2019年6月14日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

#### 当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。